

## 概観

### 【政治・社会】

- ・ 5月25日に実施されるブルガリアの欧州議会選挙の候補者名簿が各党から発表された。
- ・ 25日、欧州議会選挙の公式選挙活動が開始された。

### 【経 済】

- ・ 7日、国家エネルギー・水規制委員会（SEWRC）は、3つの送電会社の許認可剥奪手続きを延期することを決定した。28日、SEWRCは同手続きの再度延期を決定した。
- ・ 23日発表の国家統計局の暫定データによると、2013年の財政赤字は11.78億レヴァ（対GDP比1.5%）、政府債務は147.33億レヴァ（対GDP比18.9%）となった。

この月報はブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### 1. 内政

#### （1）政府及び国民議会の動き

### ◆中央選挙管理委員会の委員数変更に関する選挙法改正

▶ 11日、3月にGERBによって提出された中央選挙管理委員会（CEC）の委員数を1名増加する選挙法改正法案が可決された。これにより、委員が1名増え、議長等を含め委員は全20名となる。

▶ 24日、プレヴネリエフ大統領は、追加の委員としてMRFのメティン・シュレイマノフ氏を任命した。なお、欧州議会選挙後に選挙当選政党を踏まえ、委員構成が変更される見通しである。

#### （2）欧州議会選挙に向けた動き

### ◆政党選挙登録における個人情報の不正使用

▶ 16日の報道によると、数百人の市民が氏名や個人特定番号（EGN）等の個人情報を政党の中央選挙管理委員会への登録の際に不正に使用されたと訴えている。選挙の政党登録には最低2,500の支持者の署名が必要となっている。国家オ

ンブズマンのペンチェフ氏は、自分のEGNが国家民主党の政党登録に使用されていることを発見した。不正な署名を使用した政党には、個人情報保護法により10～100レヴァの罰金が課される。

### ◆欧州議会選挙に向けた動き

▶ 22日、中央選挙管理委員会は、欧州議会議員選挙の候補者は合計318名（政党候補者312名、無所属候補者6名）となり、合計18の政党と6の連合が選挙登録を行ったと発表した。

▶ 24日、中央選挙管理委員会は、居住要件（過去6ヶ月間のEU内居住）を満たしていないとして、候補者2名を削除した。

▶ 25日、選挙活動が公式に開始された。同日夜、与党BSP（社会党、欧州議会会派：S&D）の公式な選挙運動が国立文化宮殿で開始され、現政権の閣僚の多くとともに欧州社会党（PES）の欧州委員会委員長候補シュルツ欧州議会議長も出席した。

▶ 27日、GERB（中道右派、欧州議会会派：EPP）は、ソフィア市のホールでイベントを開

催し、公式な選挙活動を開始した。同イベントには約14,000名が集まり、欧州人民党（EPP）の欧州委員会委員長候補ユンカー・ルクセンブルク前首相も出席した。

### ◆候補者名簿発表の動き

▶16日、新興勢力の「検閲のないブルガリア」は、VMRO、農民同盟（APU）、「聖ゲオルギの日運動」との連合による候補者名簿を発表した。候補者名簿の上位者は以下の通り。

1位：ニコライ・バレコフ（「検閲のないブルガリア」党首、元テレビホスト）

2位：アンゲル・ジャンバツキ（VMRO副党首）

3位：ラダ・コジャバシェヴァ

▶17日、連立与党のMRF（トルコ系、欧州議会会派：ALDE）は候補者名簿を発表した。なお、現職のメティン・カザク欧州議会議員は候補者名簿から外れたことが明らかとなった。候補者名簿の上位者は以下の通り。なお、ペエフスキ国民議会議員（注：メディア支配を象徴する悪評高い人物で、昨年6月の同議員の国家保安庁長官選出（その後辞退）は、現政権に対する大規模な抗議行動の発端となった。）が第2位となったことについて、メスタン党首は「同議員は引き受けた責務を全て果たしている。同議員はメンバーとなっているパザルジック支部の会合に出なかったことはない。地方組織から2番目に高い支持を得ているのであれば、同議員を候補者とししない理由はない」と述べた。

1位：フィリッツ・ヒュスメノヴァ（欧州議会議員）

2位：デリャン・ペエフスキ（国民議会議員）

3位：ネジュミ・アリ（国防次官）

4位：イルハン・キュチュク（MRF青年支部長）

5位：イスクラ・ミハイロヴァ（環境・水大臣）

▶17日、野党GERB（中道右派、欧州議会会派：EPP）は、候補者名簿を発表した。候補者名簿の上位者は以下の通り。

1位：トミスラフ・ドンチェフ（元EU資金管理担当大臣）

2位：アンドレイ・コバチェフ（欧州議会議員）

3位：マリア・ネデルチェヴァ（マリヤ・ガブリエル）（欧州議会議員）

4位：ヴラディミル・ウルチェフ（欧州議会議員）

5位：エヴァ・パウノヴァ（欧州議会EPP-GERB代表部エグゼクティブコーディネーター）

6位：エミル・ラデフ（国民議会議員）

7位：アンドレイ・ノヴァコフ（EPP学生支部副支部長、GERB青年部）

8位：アシム・アデモフ（元学校校長）

▶22日、アタッカ（ナショナリスト政党）は候補者名簿の登録を行った。候補者名簿第1位はヴォレン・シデロフ党首である。

▶「ブルガリアのための連合（社会党（BSP）を中心とする左派連合）」の候補者名簿第6位は、ブルガリア社会民主党（PBSD、「ブルガリアのための連合」に所属する政党）副党首のスヴェトリナ・ヨルチェヴァ氏となることが明らかとなった。

▶改革派ブロック（注：「市民のブルガリア」、DSB、UDF、「自由及び尊厳」、ブルガリア統一農民同盟（BZNS）の5つの右派政党から成る）の候補者名簿の上位者は以下の通り。

1位：メグレナ・クネヴァ（「市民のブルガリア」党首、元EU担当大臣、元欧州委員）

2位：スヴェトスラフ・マリノフ（欧州議会議員（DSB））

### （3）政党の動き

#### ◆GERB

▶9日、GERBのボリスフ党首は、急進民主党（RDP）のザハリ・ペトロフ党首及びブルガリア社会民主党（BSDP）のヨルダン・ニフリゾフ党首と協力のための協定に署名した。2つの政党は、欧州議会選挙でGERBを支持する予定である。

#### ◆「検閲のないブルガリア」

▶25日、「検閲のないブルガリア（BWC）」のバレコフ党首は、ソフィア市を訪問中の欧州議会

会派の欧州保守改革グループ（E C R）のマーティン・キャラナン代表と会談した。キャラナン代表はBWCに対し、欧州議会選挙後の同議会会派への参加を勧誘した。

#### ◆アタッカ

▶25日、アタッカはモスクワで欧州議会の選挙運動を開始した。シデロフ党首は、ロシアとブルガリアの両国関係の発展に対する貢献によりロシア上院から勲章を受けるためにモスクワを訪問した。アタッカはウクライナ情勢に関し、対ロシア制裁に反対する立場を表明している。

#### （４）その他

#### ◆元利害対立防止・調査委員会委員長に対する判決

▶3日、ソフィア市裁判所は、元利害対立防止・調査委員会委員長であるフィリップ・ズラタノフ氏に対し、禁固3.5年の有罪判決を下した。昨年7月、同氏は特定の事案の進展に関する指示を受けていたとして職権濫用の罪で起訴されていた。同氏のノートにはGERBの有力者イスクラ・フィドソヴァ氏やボリスフ党首、ツヴェタノフ副党首、プレヴネリエフ大統領等の氏名が記されていた。

#### ◆アタッカ・シデロフ党首の起訴

▶9日、ソフィア市検察当局は、アタッカのシデロフ党首を起訴したと発表した。同党首は、今年1月、ソフィア市からヴァルナ市へ向かう国内線及びヴァルナ空港で公共秩序を乱し騒乱行動を行った罪に問われている。

#### ◆農地所有及び使用法の改正

▶29日、国民議会において、4日に採択された農地所有及び使用法の改正に対するプレヴネリエフ大統領の拒否権が覆され、同法が再可決された。同改正法によると、農地を購入する権利を有するのは過去5年以上ブルガリアに居住する自然人及び法人のみとなる。14日、プレヴネリエフ大統領

は、同改正法が憲法及びEU法と抵触するとして拒否権を発動していた。

#### 2. 外政

##### （１）ウクライナ情勢に関する動き

#### ◆ウクライナ情勢に関するオレシャルスキ首相の発言

▶2日、オレシャルスキ首相は、国民議会において、政府はウクライナ危機、とりわけEU及びロシアに関して非常にバランスのとれた立場をとっている、政府のあらゆる行動はブルガリアの利益に従ったものであり、一方の立場に偏ったものではない、と述べた。

▶同首相は、EU諸国、特に東欧諸国の経済に悪影響を与えることになるため、事態が第三段階の対ロシア制裁に至らないことを望む、と述べた。

#### ◆ウクライナ情勢に関する世論調査

▶9日、メディアナ・エージェンシーが3月31日から4月4日にかけて1,002名を対象に実施したウクライナ情勢に関する世論調査の結果が報じられた。概要は以下のとおり。

▶EU及び米国のウクライナ情勢への対処方法について、6%が認める、20%がある程度認める、41%が認めない、33%が承知していない、と回答した。

▶ロシアの行動について、17%が認める、21%がある程度認める、33%が認めない、29%が承知していない、と回答した。

▶ブルガリア政府がクリミアでの国民投票の結果を承認しないことについて、24%が認める、35%が認めない、41%が承知していない、と回答した。

▶ロシアに対するより厳しい経済的、政治的制裁については、13%が賛成する、40%が反対する、と回答した一方で、47%が意見を表明しなかった。

▶メディアナ・エージェンシーのコレフ氏は、ウクライナ情勢に関し、ブルガリアの世論は「西欧に責任があるものの、ロシアが完全に正しいわけ

でもない」という意見にまとめられる、また、幅があるものの、調査結果にはブルガリア人のロシア側の方を好む傾向が表れている、と述べた。

#### ◆EU制裁によるロシア政治家来訪の中止

▶29日、外務省は5月6日から8日に予定されていたロシアのナルィシュキン国家院議長のブルガリア来訪をウクライナ情勢に関するEUの制裁措置に従って中止したことを発表した。アタッカのシデロフ党首は国民議会において記者団に対し、ヴィゲニン外相の行為は、ロシアとの外交関係を停止しようとしており、ブルガリアにとって極めて有害である、と述べた。

#### (2) その他

#### ◆プレヴネリエフ大統領：第4回EU・アフリカサミット出席

▶1日から2日にかけて、プレヴネリエフ大統領はブリュッセルにおいて、第4回EU・アフリカサミットに出席した。同大統領は、ファン・ロンパイ欧州理事会議長、シュルツ欧州議会議長、ハーンEU地域政策担当欧州委員と会談した。ファン・ロンパイ議長との会談では、シリア難民情勢、欧州議会選挙、西バルカン諸国へのEU拡大、ウクライナ情勢等について議論が行われた。

▶また、同大統領は、ナミビアのガインゴブ首相、アルジェリアのユスフィ首相、チュニジアのマルズーキ大統領、ナイジェリアのジョナサン大統領と会談し、ブルガリアとこれらの国々との経済協力を強化する主要潜在分野は農業、ハイテク、エネルギー、建設等であるとの議論が行われた。

#### ◆ヴィゲニン外相：NATO外相会合出席

▶1日から2日にかけて、ヴィゲニン外相は、ブリュッセルでNATO外相会合に出席した。同外相は記者団に対し、ロシアとの協力の一時停止の決定は両国の軍事・技術的関係に影響を与えない、ブルガリアは5月のウクライナでの大統領選挙に監視団を派遣し、OSCEのミッションに参加する予定である、と述べた。

#### ◆オレシャルスキ首相のベトナム訪問

▶6日から9日にかけて、オレシャルスキ首相はベトナムを訪問した。同首相には、グレコフ農業・食糧相、パパゾフ運輸相、ストヤノビッチ文化相が同行した。

▶同首相は同国訪問中、グエン・タン・ズン首相、チュオン・タン・サン国家主席、グエン・シン・フン国会議長、グエン・フー・チョン共産党書記長と会談を行った他、両国間のビジネス・フォーラムに出席した。

▶7日、同首相はズン首相と会談し、ブルガリアはベトナムを東南アジアの戦略的パートナーとして位置づけており、EUに関するあらゆるイニシアチブについてベトナムと協力する用意がある、と述べた他、ズン首相をブルガリアに招待した。ズン首相は、インフラ建設、都市計画、輸送システム開発、エネルギー効率化、環境保護、食品産業を含む分野における両国の協力を強調した。また、農業及び漁業に関する覚書、文化協力プログラム、観光協力プログラムの3つの文書への署名が行われた。

▶8日、同首相はサン国家主席と会談した。同首相は、ブルガリアはEU内におけるベトナムの真の友人である、と述べた。サン国家主席は、同首相のベトナム訪問は両国の経済協力を促進するだろう、と述べた。また、同首相はフン国会議長、チョン共産党書記長と会談した。

▶同8日、同首相はダナン市で行われた両国間のビジネス・フォーラムに出席した。同フォーラムには21のブルガリア企業が参加した。

▶9日、同首相は帰路にウズベキスタンのサマルカンドを訪問し、アジモフ副首相兼財相と会談した。

#### ◆バローゾ欧州委員会委員長がロシアとの天然ガス連結について警告

▶7日、バローゾ欧州委員会委員長は、ブリュッセルでGERBのツヴェタノフ副党首と会談を行った。GERBのプレスリリースによると、同委

員長は、エネルギー供給の多角化を可能とするその他のパイプラインを差し置いてロシアとの天然ガスの連結を遂行しようとするに関し、我々はブルガリアに注意を喚起する、と述べた。また、同委員長は、ブルガリアとルーマニアのEU加盟の決定は非常に重要であった、もし両国がEU外であったらロシアは両国に影響力を拡大しようとしてEUは困難を抱えることになっただろう、と述べた。

#### ◆英国ケント公爵エドワード王子のブルガリア訪問

▶7日から9日にかけて、英国のケント公爵エドワード王子がブルガリアを訪問し、プレヴネリエフ大統領、ヴィゲニン外相と会談した。同公爵はコモンウェルス戦争墓地委員会会長を務めており、今回の訪問は第一次世界大戦勃発100周年を契機として行われた。

#### ◆ラスムセンNATO事務総長のブルガリア訪問

▶11日、ラスムセンNATO事務総長がブルガリアを訪問し、プレヴネリエフ大統領、オレシャルスキ首相、ナイデノフ国防相、ヴィゲニン外相と会談した。今回の訪問は、ブルガリアのNATO加盟10周年を記念するとともに、今秋のNATOサミットの準備に関連して行われた。

▶ラスムセン事務総長は、プレヴネリエフ大統領との共同記者会見において、改めてロシアに対し、ウクライナからの軍隊の撤退及び主権を尊重した上での同国との真摯な対話を訴えた。また、同事務総長は、ブルガリアが集団的安全保障のために行ってきたあらゆることに対する謝意を表した。プレヴネリエフ大統領は、ウクライナの主権及び領土一体性の違反は欧州の平和及び安定に大きな脅威を与えている、黒海の軍事力バランスは乱されており、空域及び海域の集団的防衛を強化するために地域諸国間及びNATO内の軍事協力を強化することが必要である、と述べた。

▶同事務総長は、ヴィゲニン外相との会談におい

て、誰もロシアを孤立させようとしているのではなく、ロシア自身が日々国際的に孤立しているのである、と述べた。ヴィゲニン外相は、政治的危機を終息させる唯一の方法は、政治的対話及び外交的イニシアチブを通じてのみである、と述べた。

#### ◆ヴィゲニン外相：EU一般・対外関係理事会出席

▶14日、ヴィゲニン外相は、ルクセンブルクにおいて、EU一般・対外関係理事会に出席した。同理事会では、ウクライナ情勢が議題の中心となった。

#### ◆ヴィゲニン外相：スロベニア訪問

▶23日、ヴィゲニン外相は、スロベニアを公式訪問した。同外相は、エリヤヴェツ外相と会談し、ウクライナ情勢等について議論した。また、同外相はパホル大統領と会談した他、リュブリャナ大学で講演を行った。

#### ◆プレヴネリエフ大統領：パチカン列聖式出席

▶27日、プレヴネリエフ大統領は、ローマのパチカンでヨハネ23世とヨハネ・パウロ2世の列聖式に出席した。

#### ◆オレシャルスキ首相：クロアチア訪問

▶29日、オレシャルスキ首相は、クロアチアを公式訪問し、ミラノビッチ首相と会談した他、両国のビジネス・フォーラムに参加した。また、両国の教育・科学省間及び文科省間で協力プログラムの署名が行われた。

#### ◆ヴィゲニン外相：米国訪問

▶29日、ヴィゲニン外相は、アトランティックカウンスル主催のNATO・EU拡大記念行事出席のためワシントンを実務訪問し、国務省、議会上院において要人との会談を行った。

▶同外相は、バーンズ国務副長官と会談し、米国の査証免除プログラムへのブルガリア適用の見通

し、安全保障、国防分野でのパートナーシップ、エネルギー安全保障分野での協力について議論した。ウクライナ情勢とEUと米国の努力による危機の平和的解決は会談の主要な議題となった。同外相は、ブルガリア及びその他の欧州の国に及ぼし得る深刻な損害に鑑み、EUによる対露制裁が回避されるよう希望すると表明した。

▶また、同外相は、国務省において、ケイダナウ・テロ対策担当大使及びブラットケ大使（元次官補代理（欧州担当））とも協議した。

▶同外相とレヴィン米議会上院軍事委員長との会

談の焦点は、ウクライナ情勢とその欧州安全保障への影響であった。同外相は、NATOの団結、米・欧州関係を強化し、EU・NATOを引き続き拡大することの必要性を強調し、それにより南東欧の安定と安全保障に対する追加的な保証となると述べた。追加的な制裁の導入に関しては、同外相は実質的なアプローチを支持すると述べ、短期的措置は、長期的な対露関係へのアプローチを策定することによりバランスのとれたものとするべきである、と述べた。

## 経 済

### 1. マクロ経済

#### ◆3月は前月比0.2%のデフレ

▶14日の国家統計局の発表によると、3月のインフレ率は前月比マイナス0.2%となった。また、年初比でマイナス0.8%、前年同月比でマイナス2.3%となった。

#### ◆2013年の家計一人当たり平均年間収入は前年比11.3%の増加

▶16日の国家統計局の発表によると、2013年における平均月間家計収入は1,007レヴァとなった。家計一人当たり平均月間収入は425レヴァとなる。家計一人当たり平均年間収入は4,814レヴァであり、前年比11.3%の増加となった。給与は家計における最大の収入源であり、総家計収入の53.1%を占めている。2番目の収入源は年金であり、総家計収入の25.5%を占めている。

#### ◆2013年末の人口は724万人

▶17日の国家統計局の発表によると、2013年末時点におけるブルガリアの人口は7,245,677人である。これはEU人口の1.5%にあたり、EU内で16番目となる。前年比では38,875名（又は0.5%）の減少となった。

#### ◆2013年の平均時給はEU内最低

▶21日発表のユーロスタットの統計によると、2013年のブルガリアの平均時給は3.7ユーロとなった。なお、ルーマニアは4.6ユーロである。一方、スウェーデンでは40.1ユーロ、デンマークでは38.4ユーロ、ベルギーでは38ユーロとなっている。EUの平均時給は23.7ユーロ。なお、本統計では農業分野及び行政分野の賃金は反映されていない。

#### ◆2013年の財政赤字は対GDP比1.5%、政府債務は同18.9%

▶23日発表の国家統計局の暫定データによると、2013年の財政赤字は11.78億レヴァ（対GDP比1.5%）となった。中央政府部門の赤字は14.24億レヴァ（対GDP比1.8%）であるのに対し、社会保障分野の赤字は8,100万レヴァ（対GDP比0.1%）となった。また、地方政府部門では3.27億レヴァ（対GDP比0.4%）の黒字となった。

▶また、ブルガリアの政府債務は147.33億レヴァ（対GDP比18.9%）となった。これは、EU内ではエストニア（同10%）に次いで2番目に低い数値である。

### 2. 経済政策、産業

#### （1）電力業界の動き

## ◆送電会社の許認可剥奪問題を巡る動き

▶7日、国家エネルギー・水規制委員会（SEWRRC）は、公開会合において、チェコ及びオーストリア企業である3つの送電会社（CEZ, EVN, エネルゴ・プロ）の許認可剥奪手続きを同月28日まで延期することを決定した。本公開会合にはオーストリア、チェコ、スペインの大使の他、ドイツ、フランス、イタリア、ルーマニア、ポーランドの大使館員が参加した。3月19日、SEWRRCは、3つの送電会社が再生可能エネルギー購入の補償のためNEKに対し電力料金を不法に相殺したり支払わないことを理由として、許認可を剥奪する手続きを開始すると発表していた。

▶28日、SEWRRCは、本手続きを5月12日まで再度延期することを発表した。

### （2）EU関連

## ◆欧州議会がブルガリアのEUファンドに関する勧告を採択

▶3日、欧州議会は、欧州委員会に対し、ブルガリアが現環境下においてEUファンドを法に則って使用できるのかについて真剣に調査することを求める勧告を採択した。

▶4日、シメタ税制・関税同盟・会計検査・不正防止担当欧州委員は、本勧告に関し、司法改革及び汚職・組織犯罪対策等の進捗状況に関する協力・検証メカニズム（CVM）報告書はEUの支出と直接リンクしておらず、欧州委員会はCVM報告書を元にEUファンドを停止することはできない、欧州委員会は更なる管理システムの強化に向けてブルガリアの政府機関と引き続き協働する、と述べた。

## ◆「環境」実施プログラムに対し最大1.8億レヴァの訂正予測

▶22日、ミハイロヴァ環境・水相は、2010年から2013年の間の監査により、2007-2013年の「環境」実施プログラムに関し、公共調達契約の違反により87の地方自治体に対し最大1.8億レヴァの訂正が予測される、と発

表した。

### （3）非EU諸国との関係

## ◆日本の農業・食品関連企業団のブルガリア訪問

▶8日付当地紙は、日本の農業・食品関連企業団のブルガリア訪問について報じている。今回の日本企業のブルガリア訪問の目的はブルガリアの経済状況と投資環境の調査であり、日本企業団はストエフ・ブルガリア商工会議所副会頭と意見交換を行った。

## ◆アゼルバイジャンがブルガリアの天然ガスネットワークに関心

▶15日、オレシャルスキ首相、ストイネフ経済相は、ブルガリア訪問中のアゼルバイジャンのアリエフ・エネルギー相と会談した。会談において、アゼルバイジャンはブルガリアの火力発電所及び天然ガスネットワークへの投資に関心を有していることが明らかとなった。同国は、パイプラインの近代化及びチレンの天然ガス貯蔵庫の容量拡張といったブルガリアの天然ガスネットワークの発展のあらゆる機会について関心を有している。

▶また、会談では、アゼルバイジャンはブルガリアに天然ガスを供給する用意があるが、輸送回路が不十分であるとの結論に至った。アリエフ経済相によると、カスピ海地域と南東欧諸国を結ぶ新たな輸送回路の建設には500億ユーロが必要である。ストイネフ経済相は、ギリシャとのガス連結管の建設は今年年末又は来年初頭には開始する予定であり、シャー・デニス・コンソーシアムと交渉している天然ガスを輸送するのに本連結を使用することができる、と述べた。

## ◆第15回ブルガリア・中国政府間経済協力委員会の開催

▶28日、第15回ブルガリア・中国政府間経済協力委員会の協議が北京において開催された。ブルガリアからは、ディミトロフ経済・エネルギー次官を筆頭に、ギネフ運輸・通信技術次官、アン

ゲロフ投資計画次官、マズネフ地域開発次官及びゲチェフ農業・食糧次官らが出席した。中国側の代表は張商務部部長助理 (Zhang Xiangchen) が務めた。席上、ディミトロフ次官は、「中国・中東欧諸国間協力のためのガイドラインが両国間の経済関係発展のために重要である」旨述べた。

▶ブルガリアにとり、中国はアジアにおける主要戦略パートナーである。2013年のブルガリア・中国間の貿易高は2012年比8.4%増の18億8400万米ドルとなり、非EU諸国の中ではトルコに次ぐ第2の貿易相手国である。

▶ブルガリア側は政府間委員会の協議において、中国側との間で鉄道車両及び機関車の生産・組立を行う合弁会社を設立する用意があるとした。また、クラタ（ブルガリア・ギリシャ国境）ーロム（ドナウ河）間の高速鉄道の建設の重要性についても強調した。さらに、農業分野においては、本年内にブルガリアにおいて中欧・中国農業協力フォーラムを開催する用意がある旨改めて表明した。

▶これに対し、中国側は、中国企業の投資可能性として、小型トラクターの生産、ガス相互連結管（ギリシャ・ブルガリア間及びトルコ・ブルガリア間）建設、蒸気ガス発電所建設、ドナウ河水力発電所開発プロジェクト、ルセーヴァルナ間鉄道改修、ブルガリア・中国間直行便の運行、黒海高速道路・ヘムス高速道路・ペトロハン峠トンネルの建設等を挙げた。

#### （４）エネルギー関連

##### ◆サウス・ストリーム天然ガスパイプラインの建設開始は6月予定

▶23日、サウス・ストリーム・ブルガリアのエルキン社長は、ブルガリアにおけるパイプラインの建設は5月又は6月にも開始する予定であると発表した。同社長は、現在建設許可手続きが進

行中である、本計画はブルガリアに30億米ドルの外国直接投資をもたらし、経済的利益は政治的懸念を上回る、と述べた。

##### ◆ストイネフ経済相とエッティンガー欧州委員との会談

▶24日、ストイネフ経済相は、ソフィア市において、エッティンガー・エネルギー担当欧州委員及びアルムニア競争政策担当欧州委員と会談し、サウス・ストリーム計画に関するエネルギー法改正法案及び電力市場の進展について議論した。ストイネフ経済相は、本計画をEU第3次エネルギーパッケージの適用除外とするエネルギー法改正法案が提出されていることに関し、サウス・ストリーム計画はブルガリア及び欧州にとって重要であり、ブルガリアはEU法に違反していない、と述べた。

#### （５）その他

##### ◆ルコイル社長のブルガリア訪問

▶23日、ブルガリア訪問中のロシアの石油会社ルコイルのヴァギト・アレクペロフ社長は、オレシャルスキ首相及びプレヴネリエフ大統領と面会し、ルコイル・ネフトチム・ブルガスに廃棄物処理施設を建設する新たな投資プロジェクトについて議論した。同首相及び同大統領は、本プロジェクト及びブルガリアへ与える経済効果について歓迎している。

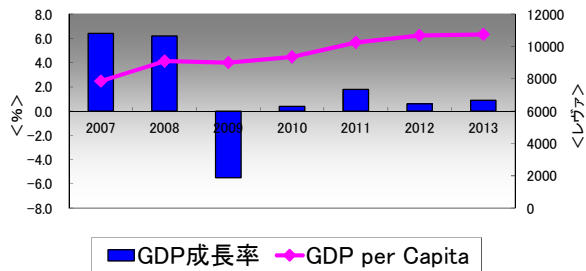
## ブルガリア内政・外交の動き（4月）

### 在ブルガリア大使館

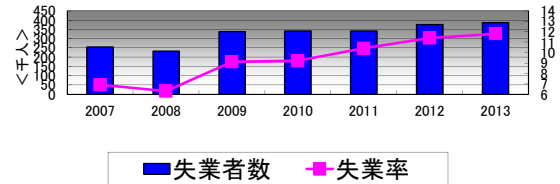
|       |                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|
| 1（火）  | ☆プレヴネリエフ大統領：第4回EU・アフリカサミット出席（於：ブリュッセル）（～2日）<br>☆ヴィゲニン外相：NATO外相会合出席（～2日） |
| 2（水）  |                                                                         |
| 3（木）  |                                                                         |
| 4（金）  |                                                                         |
| 5（土）  |                                                                         |
| 6（日）  | ☆オレシャルスキ首相：ベトナム訪問（～9日）                                                  |
| 7（月）  | ★英国ケント公爵：ブルガリア訪問（～9日）                                                   |
| 8（火）  |                                                                         |
| 9（水）  |                                                                         |
| 10（木） |                                                                         |
| 11（金） | ★ラスムセンNATO事務総長：ブルガリア訪問                                                  |
| 12（土） |                                                                         |
| 13（日） |                                                                         |
| 14（月） | ☆ヴィゲニン外相：EU一般・対外関係理事会出席（於：ルクセンブルク）                                      |
| 15（火） |                                                                         |
| 16（水） |                                                                         |
| 17（木） |                                                                         |
| 18（金） | 聖金曜日                                                                    |
| 19（土） |                                                                         |
| 20（日） |                                                                         |
| 21（月） | イースターマンデー                                                               |
| 22（火） |                                                                         |
| 23（水） | ☆ヴィゲニン外相：スロベニア訪問                                                        |
| 24（木） |                                                                         |
| 25（金） | ●欧州議会選挙公式選挙活動開始                                                         |
| 26（土） |                                                                         |
| 27（日） | ☆プレヴネリエフ大統領：バチカン列聖式出席                                                   |
| 28（月） |                                                                         |
| 29（火） | ☆オレシャルスキ首相：クロアチア訪問<br>☆ヴィゲニン外相：米国訪問                                     |
| 30（水） |                                                                         |

## ブルガリア経済指標の推移 (出典：国家統計局，中央銀行)

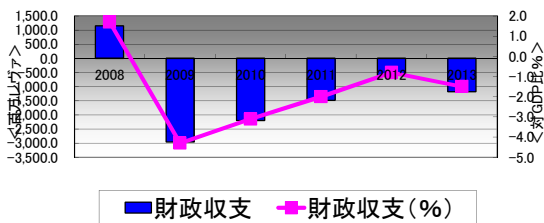
### GDP成長率と国民一人当たりGDP



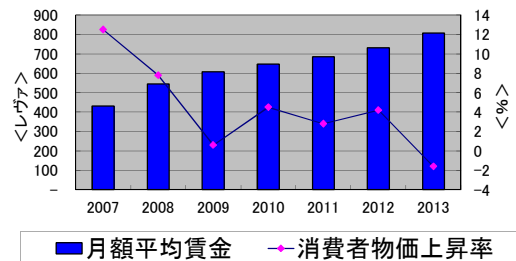
### 失業者数及び失業率



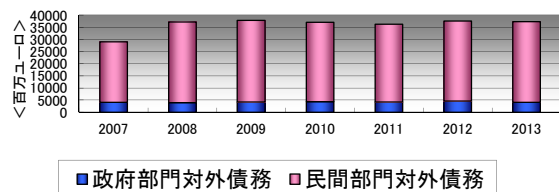
### 財政収支



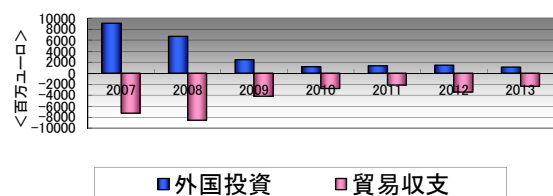
### 消費者物価上昇率と月額平均賃金



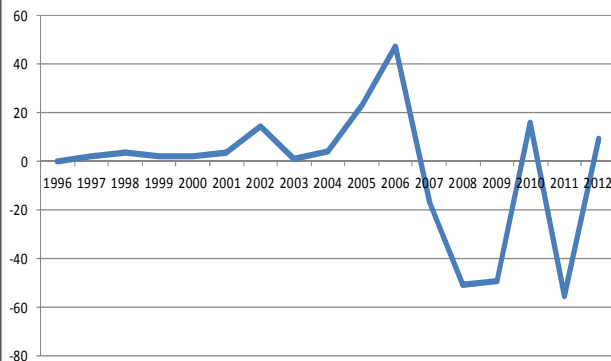
### 対外債務



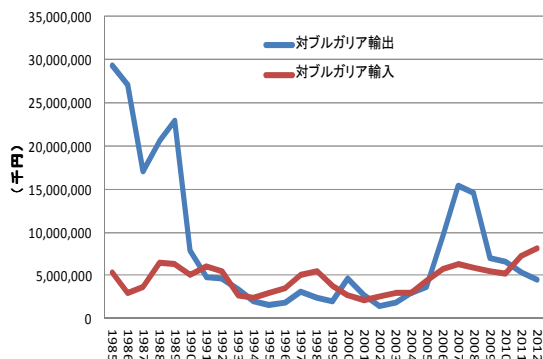
### 貿易赤字と外国投資



### 日本の対ブルガリア投資(単位: 百万ユーロ)



### 日本の対ブルガリア貿易の推移



## ブルガリア主要経済指標 (出典: 中央銀行)

### < GDP成長率と国民一人当たりGDP >

|                      | 2008  | 2009  | 2010  | 2011   | 2012   | 2013   | 2013Q1 | Q2   | Q3  | Q4  |
|----------------------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|------|-----|-----|
| GDP成長率 (%)           | 6.2   | -5.5  | 0.4   | 1.8    | 0.6    | 0.9    | 0.9    | -0.1 | 1.1 | 1.6 |
| GDP per Capita (BGN) | 9,090 | 9,007 | 9,359 | 10,248 | 10,689 | 10,744 | -      | -    | -   | -   |

### < 財政収支 >

|                     | 2008    | 2009     | 2010     | 2011     | 2012   | 2013     | 2013Q1 | Q2     | Q3     | Q4      |
|---------------------|---------|----------|----------|----------|--------|----------|--------|--------|--------|---------|
| 財政収支 (million BGN)  | 1,156.7 | -2,960.6 | -2,197.9 | -1,491.6 | -604.4 | -1,177.7 | 391.9  | -135.7 | -189.7 | -1226.6 |
| 財政収支GDP比 (% of GDP) | 1.7     | -4.3     | -3.1     | -2.0     | -0.8   | -1.5     | 0.5    | -0.2   | -0.2   | -1.6    |

### < 失業者数及び失業率 >

|           | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 Jan | Feb  | Mar  |
|-----------|------|------|------|------|------|------|----------|------|------|
| 失業者数 (千人) | 232  | 338  | 342  | 342  | 376  | 386  | 401      | 401  | 399  |
| 失業率 (%)   | 6.3  | 9.1  | 9.2  | 10.4 | 11.4 | 11.8 | 12.2     | 12.2 | 12.2 |

### < 消費者物価上昇率と月額平均賃金 >

|              | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 Jan | Feb  | Mar  | Apr |
|--------------|------|------|------|------|------|------|----------|------|------|-----|
| 消費者物価上昇率 (%) | 7.8  | 0.6  | 4.5  | 2.8  | 4.2  | -1.6 | -0.2     | -0.4 | -0.2 | 0.3 |
| 月額平均賃金 (BGN) | 545  | 609  | 648  | 686  | 731  | 808  | 794      | 780  | 813  | -   |

### < 対外債務 >

|                         | 2008     | 2009     | 2010     | 2011     | 2012     | 2013     | 2014 Jan | Feb      |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 政府部門対外債務 (million EURO) | 3,935.9  | 4,208.3  | 4,326.9  | 4,205.0  | 4,578.9  | 4,062.4  | 4,080.9  | 4,090.3  |
| 民間部門対外債務 (million EURO) | 33,310.6 | 33,608.2 | 32,699.4 | 32,089.8 | 33,201.2 | 33,276.5 | 33,332.6 | 33,325.3 |

### < 対内直接投資と貿易収支 >

|                          | 2008     | 2009     | 2010     | 2011     | 2012     | 2013     | 2014 Jan | Feb     | Mar     |
|--------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|
| 対内直接投資 (million EURO)    | 6,727.8  | 2,436.9  | 1,151.2  | 1,330.2  | 1,070.3  | 1,092.4  | 72.8     | 89.9    | 88.9    |
| 貿易収支(FOB) (million EURO) | -8,597.7 | -4,173.9 | -2,763.7 | -2,156.1 | -3,460.3 | -2,353.3 | -338.0   | -539.1  | -825.6  |
| 輸出(FOB) (million EURO)   | 15,204.0 | 11,699.2 | 15,561.2 | 20,264.3 | 20,770.2 | 22,228.2 | 1,584.8  | 3,232.7 | 4,853.4 |
| 輸入(FOB) (million EURO)   | 23,801.7 | 15,873.1 | 18,324.8 | 22,420.4 | 24,230.4 | 24,581.5 | 1,922.8  | 3,771.9 | 5,679.0 |